

## ◆研究概要等

これまで、都市型グローバル社会としての現代社会の特徴に着目しながら、その具体的な表現としての都市空間、そこで展開されるセキュリティとモビリティについて研究を推進してきました。特に、近隣住民組織による防犯・防災、ゲーテッド・コミュニティに着目してきました。

研究地域については日本だけでなく、東南アジア、特にインドネシア共和国のバリ島をフィールドとしてきました。バリ島における「多元的共同性」の考えから、グローバル化する地域社会における多様性の意義について考察しています。

近年では、セキュリティとモビリティの観点から、都市緑地空間の社会的機能とその変容、ライフスタイル移民とジェントリフィケーションの関係についても関心をもって研究を広げています。さらに、ヨーガと社会、伝統医療についての研究を展開予定です。

## ■研究テーマ等

### 1. モビリティ・スタディーズ

都市社会学に関連する最新の社会学理論のひとつとして、モビリティ・スタディーズに着目しています。古典的な社会階層論の一部では、社会的な地位の変化（上昇／下降）と住居の移動（引っ越し）が同時に起こるという前提のもと、移動と速度が自由の象徴とみなされてきました。それはなお一面で事実でありながら、現在ではいっそう多様な現象が生じています。例えば、戦争や政治・経済不安によって難民が発生したり（移動の不平等）、遅く煩わしい移動であっても楽しみの時間に変えることが可能です（移動の割り当て）。ここで、移動可能性を意味する「モーティリティ」概念を導入することで、種々の社会現象の移動的側面を把握し、その不平等と発展的可能性を明らかにすることを目的としています。

社会マスメディア系専攻  
現代社会コース准教授

ひしやま こうすけ  
菱山 宏輔

hsym@socio.kindai.ac.jp



### 2. 都市の境界領域とセキュリティ

バリ島においては地域社会の多元性を基盤に、安全・安心を観光の売りにしたまちづくりをとおして、自治的活動と新たな社会経済および地域アイデンティティ形成がみられます。バリ島のゲーテッド・コミュニティにおいてもまた、欧米の先行研究では十分に言及されていない、多元的共同性の観点から公共性を含意する「ゲート空間」が見いだされます。さらに現在、新たな海外移住者としての「ライフスタイル移民」の安全・安心、バリ島の伝統的ゲート空間がもつ都市緑地としての特徴について研究を進めています。バリ島における調査研究は、日本の近隣住民組織や地域セキュリティについて論じ、境界領域の可能性について考察する際の参照枠組としても有意義なものといえるでしょう。

### 3. ヨーガと社会についての研究

今、新たに関心をもっている分野が古典ヨーガおよびヨーガ療法です。現代の都市型グローバル社会においては、さまざまなストレス性疾患が問題となっており、改めてヨーガの効能が着目されています。日本においてヨーガといえば、綺麗なポーズで柔軟性を高めるというイメージが先立っていましたが、古典ヨーガ・ヨーガ療法においては、社会への過剰同調の相対化、自己の客観視、感受性の向上等が重視され、そのために古典的な

ヨーガの技法が取り入れられています。このようなヨーガをとおして、現代社会を知り、自己存在の位相を明らかにすることができるのではないかと考えています。テーマとしては、ヨーガとメガ・イベント（スポーツ社会学）、ヨーガと予防医療・伝統医療（医療社会学）、ヨーガとスピリチュアル・ビジネス（消費社会論）、地域ヨーガと社会関係資本（地域社会学）などへの応用がみこまれます。加えて、ヨーガ実習をとおした海外での交流、チャリティ・イベントの開催などを企画予定です。

#### ●書籍・論文・報告

【単著】『地域セキュリティの社会学——バリ島の近隣住民組織と多元的共同性』

2017年12月，御茶の水出版，

【報告】「予期不安に対するヨーガ療法指導報告」

2017年6月，『第15回日本ヨーガ療法学会研究総会抄録集』，231.

【論文】「地域防犯体制の構造転換——仙台市宮町民間交番を事例に」

2016年6月，『社会学評論』67(1)，89-105.

【分担執筆】「バリ島のゲーテッド・コミュニティと日本人」

2016年2月，『海外日本人社会とメディア・ネットワーク』東信堂，353-396.

【分担執筆】「顕在化した都心のディバイド——仙台市中心部町内会と避難所の関わりから」

2015年3月，『東日本大震災と被災・避難の生活記録』六花出版，291-317.

【分担執筆】「モビリティとセキュリティの空間」

2015年1月，『交響する空間と場所』法政大学出版，165-204.

【論文】「1960年代前半における東京都町内会の自治意識とその包摂——防犯灯問題から東京オリンピックへ」，2014年5月，『地域社会学年報』26，91-104.

#### ◆講義・ゼミ

講義は「社会学概論」「社会学総論」「都市論」を担当し、関連するテーマから卒業論文執筆指導を行っています。大学院のゼミでは、バリ島の伝統医療の近代化について、大学院生と議論を深めています。ゼミでは、2018年度から新たに、ヨーガ療法学会認定のヨーガ療法を基盤として、伝統ヨーガの座学と実技を指導しています。社会学的な観点とのかかわりでいえば、癒しや健康を求めるような現代社会の特徴を時事問題から把握したり、関連論文の輪読などを行っています。実践的な活動として、今年度は、オープンキャンパスでの学生によるヨーガ指導を予定するとともに、大阪府の府営住宅活性化のプロジェクトとの共同で、府営住宅での学生による伝統ヨーガ教室の実施にむけ、学習・指導をすすめています。長期的には、バリ島におけるグローバル・ヨーガ・イベントへの参加、現地の小学生とのヨーガ交流、フェアトレードのしくみづくりなど、グローバルな活動のひろがりを見こんでいます。